

❀ 退職にあたって

私が早稲田大学建築学科を卒業したのは1980年で、最初に就職したのは工務店でした。そこで文化財建造物修理工事の現場代理人等を5年間勤めた後、三重県鈴鹿郡関町(現亀山市)にて町の公務員となり、5年間伝建地区の修理修景事業を経験し、次に長野県木曾郡栢川村(現塩尻市)に移り、2年間仕事をしていると、今度は文化庁建造物課(当時)に來いということで、国家公務員となりました。

文化庁では重要文化財建造物の修理工事現場を回ったほか、ベトナム・クアンナム省ホイアンの町並み保存の協力事業に参加し、通算で30回ほど現地に出張しました。元々大仏様建築に興味のあった私にとって、ベトナム建築はドストライクでした。

2003年からは奈良県教育委員会に出向し、唐招提寺金堂の解体修理に携わる中、古代建築の修理を目の当たりにできたことは自分にとって大きな収穫でした。2006年に文化庁に戻り、2011年からは奈良文化財研究所にお世話になることとなりました。

今更ながら多くの幸運と引き立てていただいた諸先輩方に恵まれた長いようで短かった仕事生活であったと思います。キャリアの最後の奈文研でも、これまであまり意識していなかった分野で知識を深めることができました。感謝申し上げます。

(文化遺産部長 林 良彦)



林部長・杉山副所長・小池センター長(左から)